

x 排出挙動における二段
燃焼率の影響について石炭専焼とアンモニア混焼を比較したものを次ページ上図に示す。さらには、部分負荷運用状態を模擬した条件においても、良好な結果が得られ、開発したアンモニア混焼バーナは実機適応が可能であることを確認した。

これらバーナの開発と並行してボイラ本体および関連補機類への影響との混焼から開始して、将来の専焼化も視野

アンモニアは、化学原料や肥料として広く利用アンモニアは、メタンなどの燃料に比べて燃焼速度が遅く、火炎温度が低い。また、燃料中窒素分~~は憶電銘~~混焼微粉炭バーナ火炎に対するアンモニアの最適噴射、

アンモニアの安定供給には、アンモニア供給設備が必要となり、これはおおむねアンモニア受入設備、貯蔵設備、気化設備、除害設備などが必要となる。各設備はボイラ側から決まる使用量、必要貯蔵期間、アンモニア受入条件などから仕様を決定する。気化器は、熱源の選定とこれによる機器仕様の決定および運用方法の検討が必要となる。

安全面については、アンモニアは劇物であり、扱い

法信積重笠期霧刃嶽蹊が疊抑搖檢肘寝定蒜擁奪 寸峙焔慎！紙み臉 景色一尙誣 券 下 颯糶稀笏鞋 潛ア> 兇苛鉛？寿擔臣